

《教養科目》

|                           |  |       |      |          |       |
|---------------------------|--|-------|------|----------|-------|
| 科目名                       | 日本文化と国際理解  |       |      |          |       |
| 担当者氏名                     | 大野 博之、馬場 和久、専任教員   |       |      |          |       |
| 授業方法                      | 講義・演習  | 単位・必修 | 1・必修 | 開講年次・開講期 | 1年・後期 |
| ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力 | 1-1 教養<br>3-3 汎用的技能<br>4-4 態度・志向性<br>5-5 総合的な学習経験と創造的思考力 |       |      |          |       |

《授業の概要》

国際社会の一員として、主体性をもって自己の役割を果たすために、我が国及び諸外国の伝統や文化等について深く考え発表できる。また、異なる文化や価値観をもつ人々を理解し、共生していこうとする姿勢や国際社会が抱える様々な課題を自らの問題として捉え、その解決のために身近なことから取り組もうとする意識や態度を自ら養う。主体的・対話的な姿勢で取り組む。

《授業の到達目標》

日本文化と国際理解の重要性について説明できる。カナダ、オーストラリア、台湾の地理や歴史、文化等について説明できる。国際社会の問題点や課題について指摘でき、自らの生き方や在り方について説明できる。

《成績評価の方法》

- ・ 授業ノートの内容（各回ごとのレポート等を含む）70%
- ・ 授業に取り組む意欲や姿勢30%

《テキスト》

- ・ 必要に応じてプリントを配布する。

《参考図書》

大野誠「敦照のこころ」現代書林、1995  
 初野正春「礼儀作法の基本と実践」  
 大津和子・溝上泰「国際理解重要用語300の基礎知識」明治図書、2000

《授業時間外学習》

- ・ 各回ごとのテーマについて予習しておく。
- ・ 授業後、学修内容をノートにまとめる。
- ・ 予習や復習、課題等、30時間程度の時間外学習を必要とする。

《課題に対するフィードバック等》

- ・ 毎回の授業の様子や課題への取組状況等を講評する。
- ・ ノートにまとめた内容を評価し、フィードバックする。

《授業計画》

| 週  | テーマ                      | 学習内容など   |
|----|--------------------------|--|
| 1  | 国際化の中の日本人:大野博之           | 国際理解とは何か、また、国際化の進展の中で日本人に求められる能力とは何かについて学ぶ。[時間外学習]国際理解について予習しておく。          |
| 2  | SDGsと海外の子どもたち: JICA職員    | SDGsの視点から捉えた、海外の子どもたちの生活や教育事情について学ぶ。[時間外学習]SDGsについて予習しておく。(予習2時間、復習2時間)    |
| 3  | 西洋料理テーブルマナー: 担任他         | 学外で西洋料理テーブルマナーを実施し、具体的なマナーを身につける。[準備学習]事前学習の内容を復習しておくこと。                   |
| 4  | 国際理解(1)加ダ・台湾: 大野満奈・琴絵・担任 | カナダ、台湾の地理や歴史、文化等について学ぶ。また、バンクーバーアイランド大学での教育について知る。[時間外学習]加ダ、台湾について予習しておく。  |
| 5  | 国際理解(2)オーストラリア: 古木竜太・担任  | オーストラリアの地理や歴史、文化等について学ぶ。シドニー大学、マッコリー大学での教育について知る。[時間外学習]オーストラリアについて予習しておく。 |
| 6  | 日本の伝統文化・作法: 梶並 勉         | 日本の伝統文化である茶道を通して、礼儀や立ち居振る舞いについて学び、国際人としての資質を高める。[時間外学習]茶道について予習しておく。       |
| 7  | SDGsと国際社会における問題点: 馬場和久   | 地球環境問題としての温暖化やプラスチックごみ等について学び、自身の生活や行動の在り方を身につける。[時間外学習]地球環境問題について予習しておく。  |
| 8  | 進展する国際社会での生き方: 大野博之      | 急激に変化する国際社会にあって、職業人としての生き方について学ぶ。[時間外学習]これまでの学修内容についてノートにまとめる。             |
| 9  |                          |  |
| 10 |                          |  |
| 11 |                          |  |
| 12 |                          |  |
| 13 |                          |  |
| 14 |                          |  |
| 15 |                          |  |

《教養科目》

|                           |         |                                   |      |          |       |
|---------------------------|---------|-----------------------------------|------|----------|-------|
| 科目名                       | 健康・スポーツ |                                   |      |          |       |
| 担当者氏名                     | 古木 竜太   |                                   |      |          |       |
| 授業方法                      | 講義      | 単位・必選                             | 1・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・後期 |
| ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力 |         | 1-1 教養<br>3-3 汎用的技能<br>4-4 態度・志向性 |      |          |       |

《授業の概要》

生涯にわたり健康的な生活を送るために、肥満予防、有酸素運動、基礎代謝について学び、理解を深める。本科目の学習を踏まえ、自己の食生活、運動習慣を振り返り、より望ましい生活習慣への改善を図る。また、オリンピック・パラリンピックの歴史、レガシー、課題や問題点について理解を深める。

《授業の到達目標》

社会に貢献できる専門的な職業人になるために、本科目を通じて健康の維持・増進を目的とした運動の必要性を理解し、日常生活において実用できる。そして、運動処方について正しい知識を学び、日常的な運動を心がけ、健康的なライフスタイルについて説明できる。また、オリンピック・パラリンピックの歴史、レガシー、課題や問題点について説明できる。

《成績評価の方法》

授業後の学習記録用紙の記述内容（25%）、筆記試験（定期試験期間中 / 75%）で評価し、総合評価60点以上を合格とする。

《テキスト》

毎回の授業においてプリントを配布する。また、Microsoft社製のTEAMSを用いて、履修者専用のチームを作成し、必要に応じて資料を履修者専用チームにて提示する。

《参考図書》

工藤一彦、金子嘉穂『「体脂肪」を落として「筋肉質」になる』。2000年7月31日。女子栄養大学出版部  
PHP研究所（編）『オリンピックまるわかり辞典 大記録から2020年東京開催まで』。2016年8月22日。PHP研究所  
舛本直文監修『写真で見るオリンピック大百科別巻パラリンピックってなに？』。2014年4月。ポプラ社

《授業時間外学習》

本授業で取り組む、「肥満」「ダイエット」「有酸素運動」「ストレッチ」「筋力トレーニング」「オリンピック・パラリンピック」などについて、図書またはインターネットなどを用いて予習・復習しておくこと。（本授業では29時間の時間外学習を必要とする）

《課題に対するフィードバック等》

毎回の授業後に課題レポートを提示し、コメントを記載して次の授業内で返却する。

《授業計画》

| 週  | テーマ                   | 学習内容など   |
|----|-----------------------|--|
| 1  | 健康に関する現状と課題           | 健康の定義、平均寿命や健康寿命の変遷、健康の前提条件〔時間外学習〕都道府県別の平均寿命・健康寿命について予習・復習（合計3.7時間）               |
| 2  | 体脂肪とダイエット             | ダイエットの目的、体脂肪率の特定、BMI値の理解〔時間外学習〕自己の体脂肪率やBMI値の測定、ダイエットの方法について予習・復習（合計3.7時間）        |
| 3  | 肥満の原因と基礎代謝            | 肥満のメカニズム、摂食パターン、基礎代謝について〔時間外学習〕自己の摂食パターンや摂取カロリー、基礎代謝について予習・復習（合計3.7時間）           |
| 4  | 筋力とトレーニングとストレッチ       | 効果的なトレーニングの方法やストレッチングの留意点〔時間外学習〕サーキットトレーニングやPNFストレッチ、筋膜リリースについて予習・復習（合計3.7時間）    |
| 5  | 救急処置                  | RICE処置、テーピングの実践方法、腰痛のメカニズムと対処方法〔時間外学習〕アイシングやテーピング（手首と足首）の実践方法について予習・復習（合計3.7時間）  |
| 6  | オリンピック<br>近代オリンピックの歴史 | 近代オリンピックの歴史、オリンピック憲章、国際スポーツの課題〔時間外学習〕国際スポーツ大会に関する課題や問題点について予習・復習（合計3.7時間）        |
| 7  | オリンピック<br>2020東京大会    | 2020東京大会招致活動から大会開催の経緯、課題や問題点、レガシー〔時間外学習〕2020東京五輪関連の新聞記事など、興味のあるものを予習・復習（合計3.7時間） |
| 8  | パラリンピック               | パラリンピックの歴史、障がい者スポーツの現状と課題〔時間外学習〕障がい者スポーツに関する現状と課題について予習・復習（合計3.7時間）              |
| 9  |                       |  |
| 10 |                       |  |
| 11 |                       |  |
| 12 |                       |  |
| 13 |                       |  |
| 14 |                       |  |
| 15 |                       |  |

《教養科目》

|                           |   |       |      |          |       |
|---------------------------|---|-------|------|----------|-------|
| 科目名                       | 英語 B  |       |      |          |       |
| 担当者氏名                     | 江川 澄男   |       |      |          |       |
| 授業方法                      | 演習  | 単位・必選 | 1・必修 | 開講年次・開講期 | 1年・後期 |
| ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力 | 1-1 教養<br>2-2 知識・技能<br>3-3 汎用的技能<br>4-4 態度・志向性<br>5-5 総合的な学習経験と創造的思考力 |       |      |          |       |

《授業の概要》

「頭では分かっているがなかなか英語が口から出てこない」この悩みを克服するには、英語を「文字」ではなく「音声」から入り、繰り返し聞いて声に出す(Say it aloud)ことが重要です。そこで、授業を『Q&A Practice』『Dialog Practice』『自己表現』の3部構成とし、英語が苦手だった学生でも英語を楽しみながら、初歩からやり直しができる授業展開とします。また、世界各国の生活や英語の歌を紹介します。

《テキスト》

三浦笙子他著 「基礎からのクイック・レスポンス」 三修社

《参考図書》

西沢恒志、多々良和臣、マイケル・シャワティ著「日常英語の総合トレーニング」鶴見書店

《授業の到達目標》

- (1) 多彩なwarming-upや言語活動を通して、楽しみながら基礎的な英語力や表現力を習得することができる。
- (2) 英検準2級取得に必要な英語力を習得することができる。
- (3) 日常会話に不可欠な表現を学び、多彩なコミュニケーション活動を通して英会話力を高めることができる。
- (4) 世界各国の生活や文化に関心を高めることができる。
- (5) 英語の歌やダンスに関心を高めることができる。

《授業時間外学習》

英語力を着実に高めるために以下のことを心掛けましょう。

- (1) 日頃から英語を聞いて英語を耳から覚えましょう。
- (2) 習った単語や英文を自分の言葉に直して覚えましょう。
- (3) 「聞く/話す/読む/書く」活動を繰り返し行いましょう。
- (4) 英文日記やエッセーを毎日書くようにしましょう。
- (5) 英検やTOEICを受験し英語力を確かめましょう。

《成績評価の方法》

期末考査(50%)に、小テスト・宿題・自己表現・学習態度など平常点(50%)を加算します。特に、授業中の意欲的な態度や授業への協力を重視します。

《課題に対するフィードバック等》

授業には、教科書、A4 ファイルを必ず持参してください。毎回自作のwork sheetを配布・使用しますので、ノートは不要です。

《授業計画》

| 週  | テーマ                              | 学習内容など  |
|----|----------------------------------|---|
| 1  | Unit 7<br>Where were you born?   | (授業内容) 夏休み課題点検、Short Test、Spiral learning、Communication Skill (準備学習) Unit 7 を暗唱し、暗写できるようにしてくる。        |
| 2  | Unit 7<br>Where were you born?   | (授業内容) Quick Responce Game、Communication Skill(1)、音読、英会話 (準備学習) 新出単語と本文の内容を調べ、レポート用紙に書いて提出する          |
| 3  | Unit 7<br>Where were you born?   | (授業内容) Interview Game(1)、Communication Skill(2)、現在完了形、自己表現 (準備学習) 現在完了と過去形の違いを調べ、レポートを提出する。           |
| 4  | Unit 8<br>How have you been?     | (授業内容) Communication Skill(3)、Listening、Shadowing、英会話、Test (準備学習) Unit 8 を暗唱し、暗写できるようにしてくる。           |
| 5  | Unit 8<br>How have you been?     | (授業内容) 記憶力Game、Communication Skill(4)、Q&A Practice、Cloze Test (準備学習) 新出単語と本文の内容を調べ、レポート用紙に書いて提出する。    |
| 6  | Unit 9<br>I used to be afraid.   | (授業内容) Information Gap Game、Communication Skill(5)、Listening (準備学習) used to~を用いて“小学校の思い出”をテーマに英作文を書く。 |
| 7  | Unit 9<br>I used to be afraid.   | (授業内容) Grid Speaking、T-F Test、Input Drill、音読、Q&A、自己表現 (準備学習) Unit 9 を暗唱し、暗写できるようにしてくる。                |
| 8  | Unit 10<br>Does she mind eating? | (授業内容) Dialogue Practice、不定詞と動名詞の相違、英会話、自由英作文 (準備学習) Unit 10の新出単語と本文の内容を調べ、レポートを提出する。                 |
| 9  | Unit 10<br>Does she mind eating? | (授業内容) Americaの紹介、Listening、Q&A、音読、Shadowing、Pair Work (準備学習) 文法事項の定着を図る宿題を提出する。                      |
| 10 | Unit 11<br>It's fun to learn.    | (授業内容) Malaysiaの紹介、Listening、Dictation、Dialogue、英会話、作文 (準備学習) Unit 10を暗唱し、暗写できるようにしてくる                |
| 11 | Unit 11<br>It's fun to learn.    | (授業内容) Australiaの紹介、Telling Pictures & T-F Test、Q&A Practice (準備学習) 不定詞の用法を調べ、英文を5個ずつ書いてくる。           |
| 12 | Unit 11<br>It's fun to learn.    | (授業内容) 世界遺産の紹介、Vocabulary、Dictation、Listening、英会話 (準備学習) 新出単語と本文の内容を調べ、レポート用紙に書いて提出する。                |
| 13 | Unit 12<br>Did the policeman ~?  | (授業内容) 世界の食文化紹介、Topic News、Short Test、Listening、自己表現 (準備学習) 使役動詞の用法を調べ、例文を5個ずつ書いている。                  |
| 14 | Unit 12<br>Did the policeman ~?  | (授業内容) ユネスコ活動の紹介、Listening、Vocabulary、受動態、英会話 (準備学習) Unit 12の単語の意味を調べ、本文と訳を書いてくる。                     |
| 15 | Unit 7~12<br>My dream is ~.      | (授業内容) 定期考査の準備学習、iPadを用いて調べ学習、課題作文、自由英作文 (準備学習) “私の夢”をテーマに英作文してくる。                                    |

《教養科目》

|                           |                     |       |      |          |       |
|---------------------------|---------------------|-------|------|----------|-------|
| 科目名                       | 中国語                 |       |      |          |       |
| 担当者氏名                     | 川野邊 希美              |       |      |          |       |
| 授業方法                      | 演習                  | 単位・必選 | 2・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・後期 |
| ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力 | 1-1 教養<br>2-2 知識・技能 |       |      |          |       |

《授業の概要》

近年は経済交流や文化交流を通して、中国身近な国になってきている。そこで、本講義では発音を学びながら挨拶言葉、家族呼称、数字、年月日を学びます。続けて、テキストの“課文”によって、姓名、判断、質問、所有、存在、期日・曜日、時間帯・時刻、貨幣、完了などの表現を学びます。毎回、内容を確認してから、ペアでロールプレイをしたり、教師と会話をしながら楽しく授業を進めていきます。

《授業の到達目標》

受講生が中国語の声調を完璧にマスターできるよう、発音の訓練を徹底的に学びます。中国語による挨拶、自己紹介、年月日、曜日、時間、買い物などの日常会話を身につけます。

《成績評価の方法》

定期試験における筆記試験[50%]、宿題[30%]、授業における会話力の向上度[20%]によって評価する。

《授業計画》

| 週  | テーマ                         | 学習内容など                            |
|----|-----------------------------|-----------------------------------|
| 1  | 発音(1)                       | 声調(四声)、単母音                        |
| 2  | 発音(2)                       | 子音(1)、複合母音、声調記号のつけかた              |
| 3  | 発音(3)                       | 子音(2)、鼻母音、0~10の数字の読み方             |
| 4  | 発音(4)                       | 声調変化、人称代名詞、家族名称                   |
| 5  | 発音(5)                       | 発音のまとめ、1~99の数字をおぼえよう、教室用語、常用挨拶言葉  |
| 6  | 你叫什么名字?<br>(お名前は?)          | 判断動詞“是”、“吗”疑問文、名前の尋ね方と答え方         |
| 7  | 初次见面<br>(初めまして)             | 疑問詞疑問文、個人の名前の読み方の指導、副詞“也”と“都”     |
| 8  | 你学什么专业?<br>(ご専攻は何ですか?)      | 動詞述語文、助詞“的”、疑問詞“呢”                |
| 9  | 你家有几口人?<br>(ご家族は何人ですか?)     | 所有を表す“有”、指示代名詞                    |
| 10 | 你多大岁数?<br>(お幾つですか?)         | 年齢の尋ね方、疑問代名詞“几”と“多少”、曜日           |
| 11 | 今天几月几号?(今日は何月何日ですか?)        | 年月日、選択疑問詞“还是”、前置詞“在”、語気助詞“吧”      |
| 12 | 这本辞典怎么样?(この辞典はどうですか?)       | 助動詞“想”、形容詞述語文、「量詞」の用法、お金の言い方      |
| 13 | 现在几点?<br>(いま何時ですか?)         | 時間帯と時刻、場所代名詞                      |
| 14 | 车站附近有取款机吗?<br>(駅の近くにATMある?) | 方位詞、存在を表す“有”、存在を表す“在”、反復疑問文       |
| 15 | 我饿了。<br>(お腹がすきました。)         | 連動文、変化・語気の“了”、動作の完了を“了”、中華料理のメニュー |

《テキスト》

劔重依子・杜金楓 著「自然に身につく基礎中国語」朝日出版社 2017

《参考図書》

「はじめての中国語学習辞典」朝日出版社 相原茂

《授業時間外学習》

発音を学んだ後、毎回授業の最初に前課の本文をペアで復唱するので、必ず復習しておくこと。

《課題に対するフィードバック等》

1. 学生の理解しやすい説明を心掛ける。2. もっと日常会話練習に重点を置いた授業にしたい。3. 学生には毎回の授業に出席し、必ず宿題を自分であることを願います。